

対話 in 京都女子大 2016 のアンケート集計結果

集計纏：川合將義

参加学生 11 名中アンケート提出者 7 名

学部： 社会学 3、 法学 1、 文学 1、 無回答 2

学年： 2 回生 5、 3 回生 1、 無回答 1

進路： 就職 4 (公務員 1、 その他 1)、 無回答 3

(1) 講演の内容は満足のものでしたか？その理由は？

とても満足した 5・ ある程度満足した 2 ・

理由 ◎今学び、初めて興味が湧いた事を、新たにさらに詳しく知ることができ、さらに興味が湧きました。

◎火力発電で電力をまかなうのが、どれほど危ういかということを知る事ができたから

◎専門家の方と自分の知識や考え方の違いを認識できた。原発の安全性について正しく理解を深めることができた。

◎自身が原子力について感じていた問題を、講演を聞くことによって改めて考えさせられることがあった。

◎簡単すぎず、複雑すぎず、分かり易かったと思いますが専門家と一般人の、(確実という)言葉の捉え方の差には気をつけた方が、後々誤解を生まないかと思います。

(2) 対話の内容は満足のものでしたか？その理由は？

とても満足した 5・ ある程度満足した 1・

理由 ◎専門の方に直接意見交換でき、貴重な体験でした。

◎自分の聞いてみたかったことを聞いて嬉しかったから

◎皆さん、私の意見を否定する事も、自分の意見を押し付けるようなこともなさらず、丁寧に対応して下さいましたのがとても嬉しかったです。

(3) 事前に聞きたいと思っていたことは聞けましたか？

十分聞くことができた 7 (全員)

(4) 今回の対話で得られたことは何ですか？

- ・ 原子力問題について改めて自身でも関心を持ち、考えていかななくてはならないと思いました。
- ・ 福島原発事故は、建てる所が違っていれば回避できたのだろうなという事。

(5) 「学生とシニアの対話」の必要性についてどのように感じますか？その理由は？

非常にある 4・ ややある 2・ 無回答 1

理由 ◎話を聞いていると、学生とシニアの間に意見や価値観の違いがあって、少しでも意見交換をすることによって、議論のかみ合っていない所を修正していけると思うし、思考の幅が広がると思うから必要であると感じる。

◎学生とシニアでは、意見がちがうと思うから。

◎知らない事を聞く機会が得られたが、知らない単語等も多く理解しきれない所があった。シニアの方々では通じ合っていたのかも知れないが、少なくとも私には分からない所もあったので、少し残念でした。ちゃんと勉強してから拝聴させて頂きたかったです。

(6) 今後、機会があれば再度シニアとの対話に参加したいと思いますか？

まだまだ話したりないので参加したい 4・

もっと知識を増やしてから参加したい 2・

(7) エネルギー危機に対する認識に変化はありましたか？その理由は？

大いに変化した 3・ 多少変化した 5・ (複数回答者 1)

理由 ◎燃料の事など、はじめて知ることがたくさんありました。

◎停電しかかっていること、企業が電力不足によって海外進出している場合のあったことも知らなかったのも、火力では駄目かもしれないと感じたから。

◎エネルギー危機に対する認識は持っていたが、今後どうしていけば解決していくのか知識不足であると感じた。

○今回は原子力でしたが、その他のエネルギーについても知りたいと思いました。

(8) 原子力に対するイメージに変化はありましたか？その理由は？

大いに变化した 1・多少变化した 5・あまり変化しなかった 1・

理由 ○改めて、一般の人々による原子力への偏りを感じました

●元から原発はどんなにリスクがあっても、必要だと思っていたから。

(9) 今回の対話で自分の学科との関連性を見出すことができましたか？その理由は？

見出せた 5・見いだせなかった 0・どちらともいえない 2

理由 ○(法学の見地から)福島原発の津波は想定外というのは、法律の中では規程通りにやっていたのに今回の事が起きたと言うと、法律の改正や、強固のものにしていくことを考えていかななくてはと思った。

○ゼミが放射線関係なので。

○社会学部で情報について学んでいるので、ある情報が隠されているという典型的な例として挙げられると思った。

(10) 対話の内容から将来のイメージができましたか？その理由は？

できた 0・ある程度できた 6・あまりできなかった 1・

理由 ○将来の電力等について、今とあまり変わらない、新規参入は見込めないと感じ、日本は資源をどうしていくか、不安定で不安なことがある。

○社会、人がこうあるべきという理想は多々思いました。

○近い将来、電力不足により、電気代が高くなるだけでなく、本当に日本に電気が無くなるようなことが起きるかもしれないと思った。

(11) 対話の中でシニアが思う若手の役割を理解できましたか？またその理由は？

できた 0・ある程度できた 5・あまりできなかった 1・無回答 1

理由 ○今の若い人値が原発に対してどのような認識でいるかを認識するため？

●明確にどのようにしていけばよいか、曖昧になってしまった気がする。

(12) 自分が思っていた若手の役割とシニアの考えは違いましたか？どのような違いがありましたか？また、シニアの考えを聞くことで、自分の考えに変化はありましたか？できるだけ詳しくお答えください。

- ・自身の知識不足を感じた。 学生が感じる原子力は、大人から悪いと言われて悪いと思う事はあるが、シニアの言はまた違うものがある。根本的違いがあると感じた。
- ・正しい若手の役割とは、何なのか分からないですが、シニアの方々の意見を聞いて考えが深まりました。
- ・私はどちらかというところ反対側でしたが、メリットもあるので、一概に反対とも言えないなと思いました。

(13) 本企画を通して全体の感想・意見などがあれば自由に書いてください。

- ・このような企画は女子大ではなかなかないので、もっと行って欲しい。
- ・今まで深く考えていなかったことを考えるきっかけになって良かったです。有り難うございました。
- ・ありがとうございました。原発について理解が深まりました。

その他感想（水野先生より送付頂いたもの）

(1) 論理的に考えることは、とても重要なことだと思うのですが、いざ真面目にやろうと思うとなんとなく難しいように感じます。それは私が今まで訓練してこなかったからですが、私のような人間は、意識してやり始めた最初は、必要となる論理を見逃したり、知らず知らずのうちに軽率な一般化をしそうだなと思いました。昨日の講演会でも思いましたが、やはり日本の義務教育課程の中に修辞学を入れたほうがいいんじゃないかと思いました。結局論理的に考えられないから、考えることを放棄しがちになってしまうような気がして、日本人全体（軽率な一般化かもしれませんが）の危機感のなさにつながっているような気がします。

(2) 昨日の講演会は非常に面白くて、参加した甲斐が十分にあったと思いました。私は国文学科に在籍しているため、理工系の専門家の方々とお話しする機会はほとんどありませんから、とても良い刺激になりました。実のところ、私も原発に対しては怖いと思っていましたし、管理体制も悪かったという情報

が私の中であって、不信感を抱いていました。私が身近で情報を得るにはマスコミが多くて、正しい情報が手に入れづらいなか、昨日、実際に専門家の方々にお会いすること自体貴重な体験だったと思いますし、その方々に正しい知識をお話ししていただいて、私が疑問に思っていることをお聞きすることができたのは、私の凝り固まった考えを変える本当にいい機会だったと思います。私は文系学部ですが、理系の学問も同じように興味があり、好きなので、また何かあれば参加したいです。あと、専門家の方々のお話はとても面白かったのですが、少し難しかった部分もあったので、水野先生が解説してくださったのはとても助かりました。私の父も母も意見を押し付けるような部分があるので、父母よりも年上な方が、丁寧に私の話を聞いてくださり、丁寧に答えてくださったのは、本当に嬉しかったです。あそこまで知識や経験があると、あんなふうに対応できるのかなあとと思うと、私も一生懸命勉強しようと思いが入りました。

- (3) 原子力問題について実際に専門家の意見を聞いて物凄く貴重な体験になりました。少人数で行われていたので質問や討論もしやすかったと感じます。原子力の全てが悪ではなく事故発生による生活の環境の変化の方が人間には影響が大きいこと、マスコミによって情報操作が行われ人々がそれを鵜呑みにしていること改めて原子力発電所のあり方について考える機会が必要だと感じました。
- (4) 論理的に考えることは、とても重要なことだと思うのですが、いざ真面目にやろうと思うとなんとなく難しいように感じます。それは私が今まで訓練してこなかったからですが、私のような人間は、意識してやり始めた最初は、必要となる論理を見逃したり、知らず知らずのうちに軽率な一般化をしそうだなと思いました。昨日の講演会でも思いましたが、やはり日本の義務教育課程の中に修辞学を入れたほうがいいんじゃないかと思いました。結局論理的に考えられないから、考えることを放棄しがちになってしまうような気がして、日本人全体（軽率な一般化かもしれませんが）の危機感のなさにつながっているような気がします。
- (5) 昨日の講演会は非常に面白くて、参加した甲斐が十分にあったと思いました。私は国文学科に在籍しているため、理工系の専門家の方々とお話しする機会はほとんどありませんから、とても良い刺激になりました。実のところ、私も原発に対しては怖いと思っていましたし、管理体制も悪かったという情報

が私の中であって、不信感を抱いていました。私が身近で情報を得るにはマスコミが多くて、正しい情報が手に入れづらいなか、昨日、実際に専門家の方々にお会いすること自体貴重な体験だったと思いますし、その方々に正しい知識をお話ししていただいて、私が疑問に思っていることをお聞きすることができたのは、私の凝り固まった考えを変える本当にいい機会だったと思います。私は文系学部ですが、理系の学問も同じように興味があり、好きなので、また何かあれば参加したいです。あと、専門家の方々のお話はとても面白かったのですが、少し難しかった部分もあったので、水野先生が解説してくださったのはとても助かりました。私の父も母も意見を押し付けるような部分があるので、父母よりも年上な方が、丁寧に私の話を聞いてくださり、丁寧に答えてくださったのは、本当に嬉しかったです。あそこまで知識や経験があると、あんなふうに対応できるのかなあとと思うと、私も一生懸命勉強しようと思いが入りました。

所感 今回の対話は、参加学生の人数が少ないために、グループ分けすることなく、水野先生がファシリテータ役をされて、学生全員に感想と質問を訊き、シニアが答えるという形式を取り、必要に応じて水野先生が補足説明を行うという形式を取ったこともあって、対話に対する学生の満足度は極めて高いことが、アンケート結果から読み取れ、円グラフでの表示を出す意味もないと判断し、割愛した。また、いつもだとシニアの説明は、ややもすると長過ぎたりするが、お互いセーブするところもあって、好感を持たれたようで、「丁寧な説明を頂いて有り難うございます。」という言葉も添えられた。

内容について、大津地裁の司法判断（H28/3/9）により、高浜3/4号機の運転停止仮処分決定があった後だけに、厳しい意見を予想したが、原発の安全性について、針山さんの基調講演と質疑での丁寧な説明もあってか、（大人の見解の影響もあって）原発反対という意見の人も必要性似ついて理解したようである。事故を教訓として取られた安全強化した原発において、事故の再来は確実でないという表現に対しては、安全神話でないかという批判があった。そこで、耐震性強化と非常用電源の保持時間の増加のデータを示すことで、それなりの理解を得たが、具体的で分かり易い説明が必要に感じた。（もともと、理解云々は、アンケートから汲み取ったものではないことを付記します。）